

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成27年11月19日 No32

プロフェッショナルから学びました ～福津市商工会による出前授業～



2年生が福津市商工会の皆さんから出前授業を受ける機会を得ました。左の写真は「塗装」コースでの授業場面です。いくつかのペンキを配合し、指定された色を作るのですが、なかなかうまくいきません。ペンキの量も限られているし、時間も限られている。プロはここで失敗は許されないのですね。お客様の注文通りの色に仕上げなければなりません。お客様に代金をいただいて仕事をするこの厳しさを感じることができたのではないのでしょうか。

同じように「理容」コースでは介護シャンプーの実演を見せていただきました。介護される方に対して何を気をつけなければならないか相手の立場に立って仕事をするこの大切さを教えていただきました。そのほか、「サービス」コースでは食用油の廃油を使ったアロマキャンドル作りに取り組みました。手作りの色鮮やかなキャンドルが出来上がりました。また、「車」コースでは、ぶつけてへこんだボディをどのようにして修理していくのかと言った説明のほか、車が好きな人にはとっ



ても興味深い話も聞くことができたようです。「写真・印刷」コースでは、「フォトグラファーになるには特に資格は必要ありませんが、モデルさんやお客様を相手にする仕事です。お客様にいい印象を持っていただくには何が必要～」という説明に思わず聞き入ってしまいました。

一緒に参観していた神興東小学校の久保田校長先生が次のようにおっしゃっていました。

「子どもたちはとってもいい勉強ができていますね。しかも、みんな楽しそうに生き生きと学習しています。とっても安心しました。」

仕事をしてその対価としてお金をいただくということはとても大変なことです。大変ですが、その仕事に誇りを持って働いている人たちが世の中にはたくさんいます。

福津市商工会の皆さんの出前授業では、一人一人の仕事への熱い思いが伝わってきたのではないのでしょうか。授業を受けた2年生一人一人が「働かってどういうこと?」「仕事に誇りを持つってどういうこと?」この課題への答を少しでも見つけてくれたらと思っています。そして、自分自身の生き方を考える大切なヒントにしてほしいと願っています。

